

## 愛ライフプラン業務

### 遺品整理

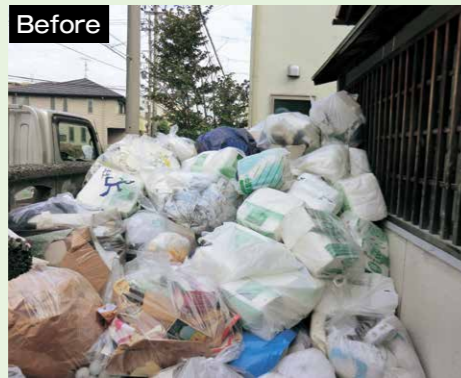
大切なモノは無いが、貴重品は無いが、一つ一つチェックし、ていねいにご遺族に変わって整理・保管、片付けを行う。



### 現場清掃

(ゴミ屋敷～現場清掃まで)

生ゴミも含め、どんな状況下になっても消臭・除菌を含めた特殊な清掃まで行う。

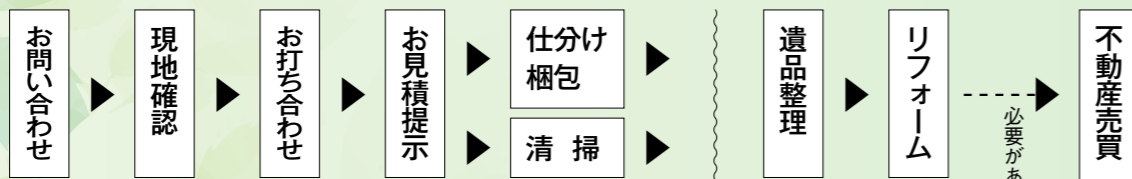


### リフォーム

その時、その時のケースやニーズに合わせたリフォームを行う。※原状回復工事等もやっている。小さな工事から大きな工事まで相談に応じてくれる。



### 依頼から完了までの流れ



まず問い合わせをいただいたら、日程の都合を聞いて調整後、現地確認を行う。その後、どこまでの作業を行うかを打ち合わせし、それに基づいて見積もりを無料で作成。納得いただいた内容と価格が決まったら、直ちに作業へと取りかかり、仕分けから梱包まで気遣いを忘れず大切に取扱い、すべての行程を完了させる。  
※個別の作業対応も可能

愛ライフプラン  
〒東京都文京区本駒込三丁目1-1 ☎0800-111-8998 <http://www.ilusion.co.jp>

# 「終活トピックス15」遺品整理・清掃の現場 親友の母の死を目の当たりにして 初めて分かった ひとり暮らしの終活



上田 一成 さん profile

うえだかずなり ● 1968年11月5日生まれ

「孤独死」と言う言葉が先行していますが、「孤独死」ではなく、ただ一緒に同居が出来なかっただけで、家族は離れていても気持ちはつながっている。だからこそ、そんな家族を素敵な家族のまま、人生の最終章を迎えさせることが私の役目だと思っている。と熱く信念を語る上田さんには、色々な家族を見てきているからこそ感じていることがあるようだ

日本国内の世帯数約5200万世帯の内、1人世帯は約1500万世帯と3割を超えるのが現状だ。65歳以上だと、男性で5人に1人、女性で10人に1人の割合となり、ひとり暮らしの終活は身近な問題となっている。

遺品整理・清掃・リフォーム（不動産まで幅広く遺族のサポート業務を展開する愛ライフプラン総括責任者の上田一成氏に話を伺った。

「私の本業は、リフォーム業と不動産業なのですが、数年前にひとり暮らしをしていた親友の母が突然孤独死し、混乱の中、業者探しに奔走し、現場の清掃、遺品整理を行った後、私がリフォームと不動産処理をお手伝いさせていただきました。すべて完了するまでには大変な労力と時間が掛かるのを目の当たりにし、私にもひとり暮らしの父がいるので、決して他人事ではないと感じました。この一連の業務を1社に頼めたら、遺族はきつとすこく楽になるだろうと思って始めたわけです。親友の亡き母から仕事のヒントをもらった気がして、実現させる

ことが供養になるとの思いもあり、その友人とも一緒に取り組んでいます」

死に関わる仕事にはまだ抵抗がある人も多いので、従業員確保には苦労していると言う。「従業員の家族にもご理解いただけるように社会的認知を高めたたいです。欧米では死に関わる仕事はむしろ崇高な業務とされているので、日本もその感覚になっていってほしいです」と語る。

ひとり暮らしの終活については、親友の母の死を通して、家族のための情報源となるエンディングノートは存在は大切だと痛感した。また、地域ぐるみで見守りができるよう、デイサービスや不動産会社などと協力し合い、「もしも」の時の訪問サービスまでつなげ、安心した暮らしを提供できるリーディングカンパニーを目指している。今後、必要とされる分野に間違いなく伸びていく。

SYU-KATSU TOPICS